

# 令和元年度 第4回太田地域協議会会議録

令和元年11月22日

太田地域協議会

## 令和元年度 第4回太田地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	4
■報告	4
(1) 地域枠予算活用事業実績報告	4
(2) 大仙市ひとづくり・ものづくり応援事業について	5
■協議	5
(1) 令和元年度地域枠予算執行事業について	5
■その他	10
■閉会	13
■署名	14

# 令和元年度 第4回太田地域協議会 会議録

---

■日 時：令和元年11月22日 午前9時57分

■会 場：太田支所 2階 会議室

■出席委員： 9名

水谷 英明、伊藤 勝良、富木 勇、根本 昇、  
小松 江里子、佐藤 田鶴子、長澤 仁十郎、鈴木 賢一、  
倉田 吹紀子

■欠席委員： 7名

田口 誠毅、小松 泉、小柳 真理子、高橋 洋、  
倉田 満法、高橋 睦子、水谷 仁光

■出席職員： 6名

谷口 藤美（支所長）	藤澤 寿史（市民サービス課長）
田中 勲男（農林建設課長）	黒澤 伸朗（公民館長）
高橋 正人（地域活性化推進室主幹）	藤澤 正信（地域活性化推進室主任）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 報 告
  - (1) 地域枠予算活用事業実績報告
  - (2) 大仙市ひとづくり・ものづくり応援事業について
- 6 協 議
  - (1) 令和元年度地域枠予算執行事業について
- 7 その他
- 8 閉 会

---

(午前9時57分 開会)

### ○谷口支所長（以下「支所長」と表記）

それでは、皆様お揃いのようなので、定刻より若干早いですけれども、地域協議会を始めさせていただきます。

会議を始めます前に、本日は定数の半数以上の委員の皆様から出席いただいておりますので、会議が成立することをご報告いたします。また、会議録作成のために、発言の際はマイクをご使用くださいますようお願いいたします。

それでは、会議の進行を規定により会長をお願いいたします。

### ○水谷英明太田地域協議会会長（以下「会長」と表記）

皆様お疲れ様です。雪も降ってきて、いよいよ冬になってまいりましたけれども、先日大仙市の雪まる隊の出動式等もありまして、雪への対策の準備も整ってきているようです。高齢者世帯だけでなく、空き家も相当数あるということで、雪による倒壊の恐れがあったりもするので、もしそういうのを見ましたら連絡をいただくとかして、いろいろ対策を取っていただきたいと思います。

さて、今回含めまして、協議会の方があと2回の予定ということでした。今年度もあと残り少なくなりましたので、皆様から情報提供の方、いろいろいただければと思います。今日もよろしくをお願いいたします。

それでは、ただ今から地域協議会を始めたいと思います。

開会に当たりまして、谷口支所長からごあいさつをお願いいたします。

### ○支所長

改めまして、皆様おはようございます。本日はお忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

2019年もあと1か月余りとなりました。今年は5月に新天皇陛下がご即位され、令和という新しい時代の幕開けとなりましたが、委員の皆様にとってはどんな1年だったでしょうか。

それでは、今日話をさせていただきたいことが2つありますので、すいませんが座ってお話させていただきたいと思います。

まず、太田町生活リゾート株式会社が今年度末をもって解散するという少し残念なことでありますけれども、支所としては解散を前向きに考えて、現在さまざまな手続きを進めております。

太田町生活リゾート株式会社が現在管理している大台スキー場や野球場、クラブハウスなどの中里温泉を除く施設については、来年4月1日から他の団体に指定管理をしていただく予定で進められております。各施設で働いている職員はそのまま残っていただき、地域の皆様方はこれまでと同じように利用することができます。

中里温泉については、現在のところ3月下旬でいったん営業を終了し、保健所などのさまざまな届出や名義変更などの手続きを完了して4月から市直営で運営していく予定であり、中里

温泉も地域の皆様方は何ら変わることなく利用できます。

中里温泉、スポーツ施設や集会施設は、地域の皆様方から大いに利用してもらうことで生きる施設ですので、地域協議会の皆様方も太田地域の公共施設をますます活用してくださるようお願いいたします。

それから、太田地域の情報提供という形でお話させていただきます。7月30日の夜に「太田地域の小学校の将来のあり方に関する意見交換会」を地元の2人の議員同席のもとで開催しました。この会の開催にあたり、認定こども園と3小学校の保護者会、PTAの役員等の114人に通知を発送し、当日は20数人の保護者から出席していただきました。この日の保護者の意見は、みんな悩みながらも、統合した方がいいのではないかという意見が多数でした。

参考までに、中仙地域の状況を少しお話しさせていただきます。中仙地域では、最初は中仙中学校と豊成中学校を統合しなければ満足な部活動などできない、ということから始まりましたが、豊川小学校と豊岡小学校も統合しなければという声が地域からあがったようで、現在、中学校と小学校の統合が同時に進められております。その流れとしては、統合に関するアンケート調査を昨年2月から2回行い、統合が過半数の結果を受けて学校再編検討委員会を立ち上げ、何回か検討委員会を開いて今年2月に統合の方向づけを行い、3月と5月に住民説明会を各地区2回ずつ行い、9月の議会で学校統合に関する条例案が可決されましたので、令和3年4月に統合学校の開校予定となっております。なぜ来年4月の開校でないかと言えば、学校内の環境を整えたり、新しい小学校の名前や校歌、校章などを公募等によって定めたりするために時間が必要だからだそうです。統合後の校舎は、中仙中学校と豊川小学校を利用するため新しく建設はしないことになっており、アンケート調査をすることから始めて開校まで最短で3年かかるようです。これが学校を新しく建てるために、敷地やグラウンドの土地を確保し、造成して設計して建設するとなれば、開校までに最低でも6年かかるそうです。3年あるいは6年先となれば、現在、学校に入っている子どもさんの多くは卒業後ということになりますが、本当に子どもが少なくなったときに考えるのでは乗り遅れたような状態になるのかなということで、今からみんなで少しずつ考えましょう、というきっかけづくりの意味で意見交換会を開きました。

ただ、大仙市教育委員会の方針として、地域の学校のあり方は、あくまでも地域の判断にゆだねるとしております。したがって太田支所が判断するとか、統合に向けて行政がリードしていくようなことはしません。

意見交換会の後、PTAなどでの動きはないようですが、いずれ近い将来はPTAのみならず地域みんなで検討を進めていくことになると思います。統合しないというのも一つ、そして統合するというのも選択の一つです。地域協議会の委員の皆様方も、太田地域にとってより良い学校の将来のあり方について考えておいていただきたいと思います。

さて、今日の地域協議会ですが、地域枠予算については、例年開催している事業と今回新たに田の尻生活改善センター環境整備事業として桜の木の整枝とテング巣病対策が上がっております。ここ数年、こうした樹木の整枝や枯れた木の伐採、テング巣病除去などを川口、横沢、中里、三本扇などの集落や墓地利用者組合、北部センターを管理している上堰集落などから申請があつて行いました。前にも申し上げましたが、費用の関係で各集落だけでは対応が難しい

ことを、地域枠予算を活用して市と協働で行う一番分かりやすい事業だと思えます。

それぞれの自治組織の代表者には、地域枠予算の活用について会議の場で説明したり、通知でお知らせをしたりしておりますが、各委員の皆様方がお住いの地域でも活用できる事例があるかもしれません。今年度の地域枠予算残は、まだ少しありますので、ぜひ有効活用していただきたいと思えます。

それでは、本日もよろしくご審議くださるようお願いいたします。

## ○会長

ありがとうございました。

学校統合に関して、ちょっとお願いですけれども、最後の「その他」の時でいいですが、結構前から出ている学校統合の話について、経済的な理由とかいろいろあると思えますが、子どもたちだけのことを考えた場合のメリット・デメリットについて分かる範囲で教えていただきたいと思えます。

なぜかと言うと、色々話し合いがあった場合に、何を参考に考えたらいいのか、大人でも分からないこともあると思えますので、そのためにあらかじめ情報をいただければ、いろいろな話をする時の判断材料になると思えます。もしお分かりになりましたら、最後の方に教えていただければと思えます。例えば費用とか一切関係無しに、子どもだけにとってのメリット・デメリットでお願いしたいと思えます。

## ○支所長

詳しくは市の教育委員会で情報を持っています。詳しい説明、間違いのない正しい説明は、市の教育委員会になります。私どもの方では、側で聞いていて流れてくるような情報しか無いので、もし資料や詳しい説明をして欲しいとなれば、市の教育委員会の方になります。

## ○会長

可能でしたら、次回の協議会で結構ですので、さっき申し上げたとおり、実際の子どもの教育にとっての視点だけに絞っていただければと思えます。よろしくようお願いいたします。

それでは、会議の方に入ります。次第4「会議録署名委員の指名」をいたします。会議録署名委員は、伊藤勝良委員、富木勇委員にお願いいたします。

次に、次第5「報告」に入ります。(1)「地域枠予算活用事業実績報告」について、事務局から報告をお願いします。

## ○事務局（地域活性化推進室）

【地域枠予算活用事業実績報告について、配付資料に基づき説明】

## ○会長

ただ今、事務局から報告がありました。皆様からご質問などございましたらお願いいた

します。

(「無し」の声あり)

## ○会長

それでは、無いようですので、ただ今の4件につきましては報告のとおりといたします。

次に、(2)「大仙市ひとづくり・ものづくり応援事業について」報告いたします。11月8日に開催された審査会に私が出席しておりますので、申請があった件について報告させていただきます。

【会長より、今回申請のあった協和地域の「きょうわジビエ研究会」の内容について報告】

## ○会長

報告としては以上です。皆様からご質問がございましたらお願いいたします。

## ○支所長

8月14日早朝に惣行でクマ被害がありました。その後、太田地域内で4頭が捕獲されています。今のところ大仙市全体で53頭が捕獲されていて、そのうち約8割が協和地域だそうです。協和は沢沿いの集落が多く、太田の比ではないくらい頻りにクマが出るということで、前々から捕ったものを使って何かできないかということで話し合われてきたこともあり、協和の地域性のある事業となっています。頑張っているものを作って利益に繋げてもらえればよいなと思っています。

ひとづくり・ものづくり事業はなかなか大変な事業ですが、志を立ててやってもらっている事業ですので、太田地域にも今後そういった人材や、できることが出てくればよいなと思います。

(質問・意見等が無いため)

## ○会長

それでは、ただ今の件につきましては、報告のとおりといたします。

それでは次に、次第6「協議」に入ります。(1)「令和元年度地域枠予算執行事業について」、事務局から説明をお願いいたします。

## ○事務局（地域活性化推進室）

【令和元年度地域枠予算執行事業について、配付資料に基づき説明】

### ・実施類型【③市民協働型】

#### 1. 田の尻生活改善センター環境整備支援事業

事業目的：田の尻生活改善センターにある桜のうち、樹高が高くなり手入れが困難

になっているもの、また冬季は枝が屋根にかかり雪の滑りに支障を来しているものもあることから、テングス病対策も兼ねて、対象となる桜の木の整枝を行い、景観と環境の整備を実施するもの。

申請団体：田の尻生活改善センター

申請額：194,150円（使用料及び賃借料）

## 2. 三本扇集落環境整備支援事業

事業目的：三本扇農村公園（小柳農村公園）の桜の木のうち、樹高が高くなり手入れが困難な箇所が出てきていることから、昨年度に作業を行った11本に引き続き、今年度は残る12本を実施し、景観並びに安全のための環境を整備するもの。

申請団体：三本扇部落会

申請額：257,400円（使用料及び賃借料）

## 3. 北部墓園保全支援事業

事業目的：太田北部墓園東側に植栽されている樹木の一部が枯木となり、倒木の恐れがあることから、来園者や墓石への被害を未然に防ぐために伐採し、安全を確保するもの。

申請団体：太田北部墓園墓地使用者組合

申請額：220,000円（使用料及び賃借料）

## 4. 冬季少年少女野球教室開催支援事業

事業目的：太田地域の野球スポーツ少年団を対象とした、元プロ野球選手が指導する野球教室を開催する。この事業により、少年少女の技術向上及び指導者の指導力向上のほか、地域のスポーツ活動の拡大と世代間交流を図ることを目的とする。

申請団体：太田町生活リゾート株式会社太田スポーツパーク

申請額：340,350円（報償費、旅費、使用料及び賃借料）

## ・実施類型【⑤地域イベント応援事業】

### 1. 太田の火まつり開催事業補助金

事業目的：太田地域の伝承行事を一堂に会し、住民参加型のイベント「太田の火まつり」を開催することで、五穀豊穰・無病息災を願う太田地域の小正月行事として、定着・伝承していくことを目的とする。

申請団体：太田の火まつり実行委員会

申請額：900,000円（補助金）

○会長



ただ今、事務局から説明がありました。皆様からご質問などございましたらお願いいたします。

鈴木委員、何かございませんか。

### ○鈴木賢一委員（以下、「鈴木委員」と表記）

鈴木です。夏まつりや火まつりで、シャトルバスや巡回バス等を運行することはできないでしょうか。

### ○支所長

支所でも以前、シャトルバス運行について検討したことがありました。あのとおり駐車場も限られておりますので、例えば野球場などを発着地にして運行できないかと考えたところです。ただ、会場周辺の混雑状況等もあることから、バスの運行も大変でないかなということになりました。

当日の開場は午後5時で、イベント開始が6時からです。紙風船上げ等のメインイベントとなると正味1時間半位の内容ですが、これに対して支所の公用バス1台の運行となると道路の状況からして5分、10分で回れるようなものではなく、乗車して20分位かけて会場に着き、乗客の昇降があり、同じ道に戻って来る、往復だけで1時間位かかるシャトルバスになってしまうのかなという気がいたします。

他支所の公用バスは、時間外利用ができないこととなっているので借上げが難しく、かといってレンタルするとなると時間に関係なく1台当たり10万円からということで、予算的に厳しいのかなというところです。いざ検討を始めてみたら、メインイベントの時間に合わせてシャトルバスを運行するとなると、かなりの検討が必要になりました。

また当日、支所の職員は、ほぼほぼ総動員です。他に交通指導隊、地元消防団にもかなり出ていただいていますけれども、何が一番人手を要しているかということと交通整理と駐車場の係で、支所の女性職員も駐車場についている状況です。更にイベント会場でも職員が動いておりますので、マンパワー的に不足している状況です。いずれ今シーズンからというのは難しい部分がありますので、少し時間をかけて検討させていただきたいと思います。

私たちも、そして皆様も十分わかっていることだと思いますが、昔青年会でやっていた頃とはイベントの規模が違って、もともと太田だけだったのが今では大仙市全体のイベントになった関係で、大きくなればなるほどマンパワーとお金、警察等への届出関係など、かかるものが大きくなる一方で予算も限られてくるということもありますので、検討にお時間をいただきたいと思います。

### ○鈴木委員

今年に始まったことかどうかは分かりませんが、大曲の花火の年間イベントポスターに太田の火まつりが載っています。つまりは、もう太田だけの祭りではなくなっているということなので、これに対応していかないと収拾がつかなくなるのではないのでしょうか。

## ○支所長

いずれ太田の火まつりの花火については、10年位前からイベントポスターに載っていて、2月に花火を上げるのがそこしかないということで、観光サイドからお願いされて載せているところもあります。それから、大仙市商工会主催の花火スタンプラリーもあって、昨年度も会場に一部スペースを用意して幟旗を立ててやったりして、そういったお客さんも結構来ます。

市長からも、近隣の田んぼを借りて駐車場を作ったらどうかと言われたこともあり、関係者で検討はしましたが、借りて除雪したところで、その日の天候によっては車がスタックして大変だということも想定されますし、現に西木の紙風船でもそういったことがあるようです。かといって、鉄板を下に敷いてという話になれば、また大きくコストもかかってくる話になります。お手元の資料にもありましたとおり、200万円位の予算でどうにかこうにか開いているイベントですので、これ以上にコストがかかるのは無理な話かと思えます。

また、会場の変更となれば、周辺の宅地や建造物の関係も異なることから、花火や紙風船上げや天筆焼きを行う際に、安全面や環境面でいろいろ課題が出てきます。イベント実施後も、春先には実行委員や市の職員が、天筆焼きや花火の燃えカス処理等に当たっているなど、見えないところで多くの人手がかかっています。実行委員の方も、呼びかけてはいるんですけれども増えていかないということもあります。是非、ここにおられる地域協議会の委員の皆様も実行委員にご協力いただければ大変ありがたいです。

職員も総動員してですので、これ以上大きくするという事は、マンパワーとお金さえあればなんとかなるんですけれども、難しい部分も多々ありますのでご理解願いたいと思います。

## ○会長

恐らく鈴木委員が言ったのは、シャトルバスにすることで人員がもし減ればという意味もあったのではないかなと思います。例えばシャトルバスを導入した時に、かかる人員がどのくらい変わるのかといったシミュレーションをしてみてもどうでしょうか。

## ○支所長

シミュレーションはしてみました。その結果、乗降場所やバスの添乗員など、最低でも5～6人は増員しなければなりません。また、シャトルバスを運行したところで駐車場従事者は変わりませんので、結果的に人員は増えるということになります。

## ○会長

そういうシミュレーションの結果や、これ以上増員が無理だという参考値があるのでしたら、それを委員に提供していただけたら考える材料にもなると思います。

## ○藤澤市民サービス課長（以下、「藤澤課長」と表記）

現状ですけれども、火まつりの実行委員は現在20人位おりますが、高齢化もしてきておりますし、全員が全員、協賛金集めなどの準備や当日運営に関わっているわけではありません。また、太田支所の職員も年々減ってきておりますので、これ以上イベントの内容を拡大するとすれば、ここにいる地域協議会の皆様や集落会からの代表などから全面的に協力をいただかなければ難しいかなと感じています。

限られた人員で知恵を絞りながら実施しているところですので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### ○会長

拡大するというわけじゃなくて、そのへんのことをデータにして出していただければ、今後どうしたらいいかを考えるきっかけになると思います。もし人手が足りないのであれば、例えば各集落から2人出してもらうとかも必要になってくるのではないのでしょうか。住民のための祭りであるのなら、やはり役所の人だけに頑張らせているだけでは継続していかないので、あと限界だというのをデータ等で示してもらえればいいのかと思います。それを自治会の代表者の会を開いた時に示して、祭りを継続するために集落から若い人を2人出して欲しいというようなお願いだってできるんじゃないかと思います。

### ○藤澤課長

大変ありがたいお言葉です。今お話いただいたとおり、火まつりに限らずその他地域のイベントに関しても比較検討できる資料をこちらで用意して、地域協議会や集落会などに示しながらイベント継続に向けて検討していければと思います。

今回の火まつりは、今回の予算の範囲内で実施することとして、来年度以降の運営に活かしていければと思います。どうかよろしくお願いいたします。

### ○会長

その他に委員の方からご意見等ございませんか。長澤委員の方から何かございませんか。

### ○長澤仁十郎委員（以下、「長澤委員」と表記）

特にありません。

### ○会長

倉田委員の方から何かございませんか。

### ○倉田吹紀子委員（以下、「倉田委員」と表記）

倉田です。感想になってしまうかもしれませんが、この前、太田地域文化講演会でローズメイさんの講演を聴かせていただきました。太田中の生徒さんも一緒に聴いていたのですが、将来の太田地域を担う子どもたちが「自分の人生の分岐点はどこか」とか考える機会になったのではないのでしょうか。中学生の講師に対する質問も中学生らしい質問をされ

ていて、講師の先生も大変分かりやすい良い回答をしていただきました。

それと、自分の子どもも立教大学さんが太田球場で夏の合宿をしたおかげで、大人の野球、楽しみ方が分かったということを行っています。そういう方々が何年か後にまた太田に来てくださったり、全てが、細い線ではあるけれども繋がっているということは、太田地域が大事にしているところだなと思いますし、それを後世に伝えていけることも地域の魅力だなと思います。

今の祭りの件も、関係者がこんなに難儀しているという話を聞いて、見に行くだけでも応援したいという気持ちになれましたし、実際携わった方々の話を聞くと、予算面を始め知らないことがたくさんあるのだなと痛感したところでした。話があっちこっちになってすみません。以上です。

## ○会長

それでは、質疑の方をこれで終わりたいと思います。

今回申請があった5件の地域枠予算について皆様にお諮りいたします。一括してお諮りしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議無し」の声あり)

## ○会長

それでは、ご異議が無いようですので、一括してお諮りいたします。今回申請があった5件について、承認してよろしいでしょうか。

(「異議無し」の声あり)

## ○会長

ご異議が無いようですので、今回申請があった5件について、地域枠予算として承認することといたします。

次に、次第7「その他」に入ります。委員の皆様から地域の情報提供等をお願いいたします。

伊藤委員、何かありませんか。

## ○伊藤勝良委員

情報提供ではないですが、現在解体中の北都銀行のところですが、単に更地にするのか、何か計画があってやっているのか、分かる範囲で教えていただけないでしょうか。

## ○支所長

北都銀行の土地は、個人からの借地だそうです。建物は北都銀行の建物で、土地は10年1サイクルの借地で、今回30年で区切りがいいということで撤退ということになった

そうです。太田支店閉店にあたって北都銀行さんの方でも、建物を買ったり借りたりしてくれる人があればということで事前に探ったそうですが、無かったということで、全部解体して借りた土地を原状復帰して戻すということのようです。

跡地の利用については土地の所有者が考えることだと思いますけれども、私どもも夜に明かりがつかなくなると、火が消えたなど寂しい気持ちでいるところです。

## ○会長

他にありませんか。長澤委員、お願いします。

## ○長澤委員

地域のことではありませんけれども、この前の11月11日に太田地域の自治組織連絡協議会の研修会ということで、成瀬ダムの建設現場を見てきました。ああいう大きいダムを作る現場というのは簡単に見ることができないと思っておりましてけれども、国交省の方でも見学してもいいよということで行かせていただきました。

かなり大きい110何メートル以上のダムだということで、55トンダンプが行き来する凄い現場でした。現場事務所があるのは、真木から大曲に行く位ずっと下の方であって、現場に向かう途中には現場作業員が生活する仮設住宅が続いているところもありました。

ダムの底になるところからダムのてっぺんになるところまで連れて行ってもらいました。めったに見ることができない、大変参考になるものでしたので、皆さんも興味がありましたら是非行ってみてはどうかと思いました。

## ○会長

富木委員の方から、何かありませんか。

## ○富木勇委員

富木です。石神集落の方の記念植樹事業を無事に終えることができました。これも、川口集落さんがやったものを参考にして集落長さんに紹介したところ、やってみようということで実施したものでした。

この地域協議会にいればこそ情報を得てこういう事業ができた、いつも良い機会を与えていただいているなどと思いました。どうもありがとうございました。

## ○会長

そうすれば私の方から何点か報告がございますので、報告させていただきます。

先日、高齢者包括支援センター東部が主催する東部地区のケア会議で、介護の予防事業というのがあるのですが、現在の70代位の方までは体が丈夫で動ける人も結構いて実際は心配ないのではないかと言われていますが、逆にその下の50代、40代の方が、おそらく退職した後に体力が落ちて介護予防のための体力増強策が必要になってくるのではないかとされています。

また、大仙市には認知症の初期集中支援チームというのがあり、地域に認知症と疑わしい方がいる場合、高齢者包括支援センター東部へ通報することで、医療機関側の専門チームとの連携で迅速に対応できる体制が整っているそうです。

あともう一つは、田んぼの整理に関連してですが、排水の側溝が深くて散歩していても怖いという話を聞いたのですけれども、実際、高齢者に関わらず道路を歩く人にとって、落ちた場合に大きな事故に繋がりそうな位の深さになっています。あと最近は降雨量も増えていますので、降雨時に今までと比べてどのくらい水の流れが変わるのかということも検討する必要があるのかなと思います。また実際、去年、今まで水が上がらなかったところに水が上がったという話もあって、そういうことについて設計の方ではどう見ているのか聞いてみたいといった話がありました。

## ○支所長

すいません。そうすれば、冒頭に会長から言われた学校統合の件について、詳しいことは後で教育委員会から資料をもらってお渡ししたいと思いますのですが、私個人的に分かっている範囲でお話したいと思います。

北小学校さんは今、複式学級になっていて、40分ないし45分の授業のうち20分で2年生、残り20分で3年生の勉強を先生が1人で教えているような状況です。昔からある制度で、そのような中でみんなちゃんと勉強して立派に成長していることでしょうけれども、いずれ複式学級になれば良いこともあれば悪いこともあるそうです。

私どもは経験していないので想像できませんが、北小学校だけでなく豊川小学校も、大曲地域内の小学校でも導入されている制度です。文科省の方では、学校の適正規模について1学級何人位という目安のようなものがあるらしく、複式学級についても同様です。

部活については、小学校ではスポーツ少年団になっていますけれど、マーチングとかは3小学校合同で練習したりしているようです。だいぶ前、太田町の頃は公用バス2台で送り迎えをしていましたが、市町村合併後はそれもできなくなって、3小学校がどこか1か所に集まって練習するとなると送迎できる家庭とできない家庭があるようです。

そうした事情から、やりたいこともできないという子どもさんもいるようで、一人一人に目が届いて非常に良いこともあるのですが、それが果たして社会に出てからどうなのかなというところもあります。また、保護者にとっては例えばPTA活動、子どもが少ないとなればPTA会費も少なくなりますし、学校行事の際には保護者が難義しなければならないことも多くなるようです。

やはり子どもの教育に関しては、子ども、保護者、地域にとっても、いろんな面で影響があるなということを感じています。支所として協力することもできないこともありますけれども、学校に限らず人口が減っていくことは社会全体の問題だと思います。

子どもは地域の宝だと思って一生懸命応援して協力してくれている人もいますけれど、今度は協力してくれる人も少なくなってきましたし、これから5年先、10年先となれば今とまた違った影響も出てくるような気もいたします。

いずれそういった資料は次の会議まで取り寄せたいと思いますので、よろしく願います。

たします。

### ○倉田委員

ちなみに小学校のスポ少の野球なんですけれども、このお父さんは今の時間に学校に迎えに来られる人なのかなと思って聞いてみたら、「仕事の関係で来られない人もいるけれど、やっぱり子どもは今のチームで続けたいということで、順繰りに何人かの保護者で回転して、月一で仕事を早退したりして苦肉の策で子どもの送迎をやっている」とのことでした。

例えば児童クラブでも、土曜日は時間が来れば習い事に行かせて、またクラブに戻って来る子もいて、その送迎のために中休みを取って来る保護者もいます。いろんな情報がある社会で習い事なんかも多様化していて、今のお母さん方は他方の人と関わりながら習い事を続けさせることが子どものためということで、そのための月一の休みは仕方がないなということで頑張っている方もいるみたいです。

### ○会長

支所長がおっしゃったように、地域のいろんな方の協力により子どもたちが成長しているのだと思います。人数的な制度の関係もあるかと思いますが、そこらへんの情報をいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、事務局の方からごさいませんか。

### ○事務局

来週30日午後から、大仙市地域協議会委員研修会がドンパルで開催されますけれども、こちらは5名の方から出席いただくことでお返事をいただいております。

また、12月18日、こちら中仙・仙北・太田の3地域協議会持ち回りでやっている東部地区地域協議会合同研修会・交流会がありますが、昨年太田が当番で、今年は仙北が当番です。現在のところ太田地域協議会からは3名の方から出席の報告をいただいております。28日までお返事をいただくこととしておりますが、もしこの場で分かるようでしたら帰りに教えていただければと思います。研修会だけでも結構ですので参加していただければありがたいです。

あと、次回の地域協議会について詳細はまだ決めておりませんが、1月下旬頃を予定しております。その後3月にもう1回開催して、今年度計6回という予定になっておりますので、よろしく願います。以上です。

### ○会長

それでは、以上をもちまして本日の会議を終了いたします。長時間にわたりありがとうございました。

(午後0時7分 閉会)

---

太田地域協議会運営規程第7条第2項の規定により、ここに署名する。

会議録署名委員

伊藤 勝良

---

富木 勇

---